

月の舟通信

2015年9月 No.47

四七、二十歳の「月の舟」

この八月、「月の舟」四周年を無事に迎えました。勤勉で思いやりに溢れた会員の皆様、講師の先生方のおかげをもちまして、いつも暖かく穏やかな「月の舟」であることを、心から感謝いたします。二十歳の「月の舟」を皆様と迎えられるように、と気持ちを新たにしているところです。

城は人、と言います。「月の舟」というお城は、人、すなわち会員の方々、受講生の皆様で成り立っています。

今後の課題は、会員さんが増えること、特にゴールドカードの会員さんが一千人になること。

ゴールドカード会員になられまして、月々三千円換算ですべての講座を受講できますので、とてもお得です。ゴールドカード会員の方々は学習意欲に溢れ、生き生きとされ、笑顔が弾けておいでです。その笑顔が「月の舟」の宝です。

きみことワインを 2015

ゴールドカード会員さんが百人になれば、「月の舟」の家賃が一年分払えます。三〇〇人になれば、若いスタッフをひとり雇えます。一千人になれば、知的で優しい人が鹿児島じゅうに溢れます。「月の舟」二十歳までにはそれが達成されるはず！

さあ、明るい未来の「月の舟」、九月から充実した講座がいっぱい。まず、「月の舟」文章教室を再開。リラックス瞑想の午前クラス、着付け教室第二期が始動。文学カフェは、「椋鳩十の世界」と題して、岩下雅子先生（志學館大学特任講師）にお話しいただきます。

日本文学月下美人クラスは、この四月に鹿児島大学准教授として赴任されたばかりの多田蔵人先生に芥川龍之介の小説「開化の殺人」をご講義いただきます。三二歳の新進気鋭の研究者で、すでに大家の気風あり。

フランス文学講座も大人気。今月は、スタンダールの「赤と黒」です。お聴き逃しなく。聖書講座は、今回特別に『ダ・ヴィンチ・コード』を鈴木神父さまに新たに解説していただきます。どなたでもご参加いただけますよ。

文学散歩は、世界文化遺産巡りと加治木椋鳩十文学記念館へ。帰りは、重富海岸の博物館へも立ち寄ります。さらに「こころと身体のきれいな塾」、久々の開催。インテリアコーディネートターの鳥丸尚子さんに「モノとの向き合い方」についてお話しいただきます。

さて、「月の舟」の九事業が「国民文化祭応援事業」として登録されました。「月の舟」の講座やイベントがそのまま国民文化祭の応援となることを嬉しく思います。また「月の舟」は文部省委嘱の司書講座の会場にもなります。

「月の舟」から爽やかな風が吹いています。ともに学び、ともに楽しみましょう。（みたけきみこ）